

内航船舶輸送統計速報 (令和元年(2019年)10月分)

1. 概況

総輸送量は、28,284千トン(対前年同月比9.4%減)、13,894百万トンキロ(対前年同月比12.3%減)であり、大型鋼船は17,633千トン(対前年同月比7.8%減)、9,870百万トンキロ(対前年同月比11.8%減)、小型鋼船は8,865千トン(対前年同月比12.1%減)、3,742百万トンキロ(対前年同月比13.3%減)であった。

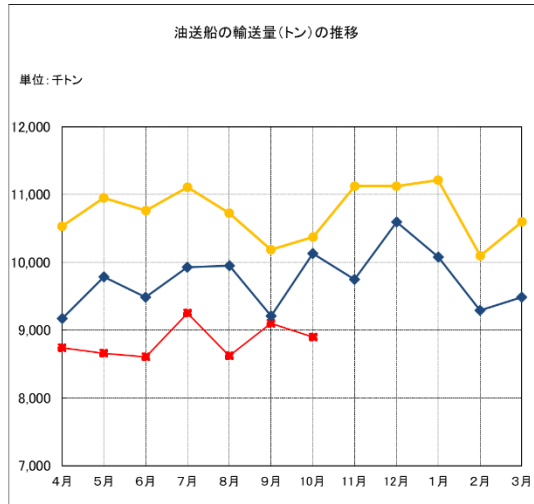
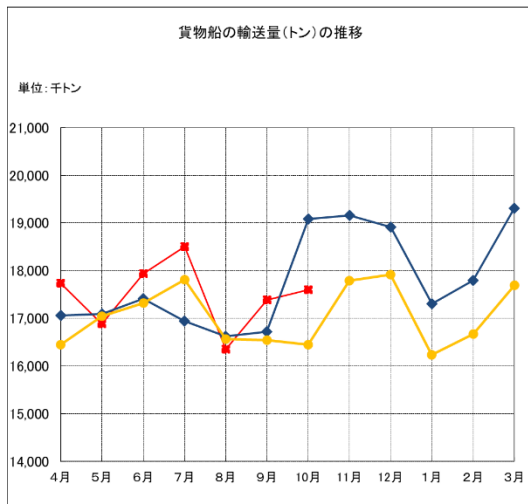
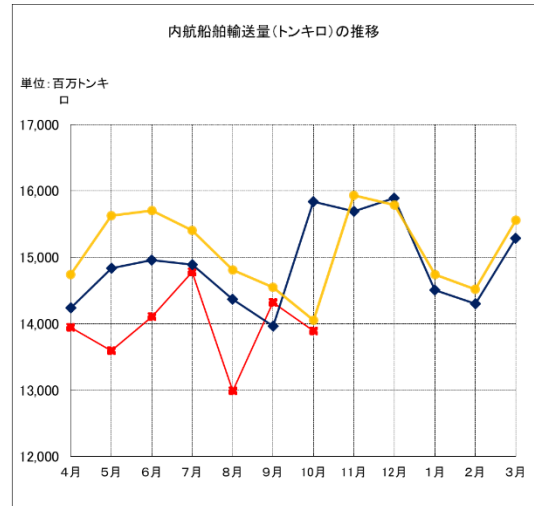
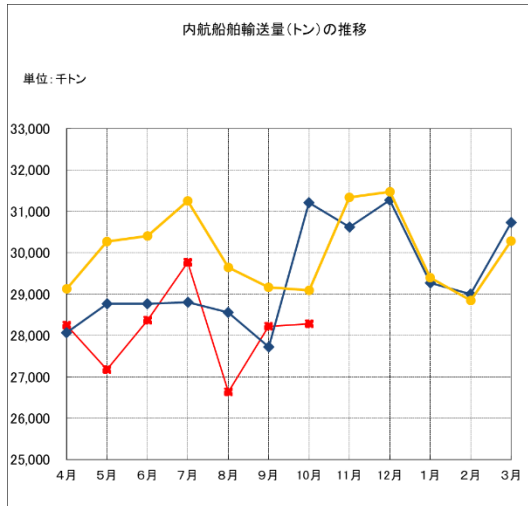
貨物船は17,598千トン(対前年同月比7.8%減)、8,828百万トンキロ(対前年同月比10.0%減)であった。

油送船は8,900千トン(対前年同月比12.1%減)、4,784百万トンキロ(対前年同月比16.1%減)であった。

プッシュャーバージ・台船は1,786千トン(対前年同月比10.5%減)、282百万トンキロ(対前年同月比15.5%減)であった。

2. 用途別輸送実績

項目	トン数 (千トン)	前年同月比 (%)	トンキロ (千トンキロ)	前年同月比 (%)
合計	28,284	90.6	13,893,957	87.7
大型鋼船	17,633	92.2	9,869,950	88.2
小型鋼船	8,865	87.9	3,742,031	86.7
プッシュャーバージ・台船	1,786	89.5	281,975	84.5
貨物船	17,598	92.2	8,828,265	90.0
油送船	8,900	87.9	4,783,717	83.9
プッシュャーバージ・台船	1,786	89.5	281,975	84.5



凡例：●平成29年度（2017年度） ◆平成30年度（2018年度） ■令和元年度（2019年度）

本速報値の総輸送量は、「内航船舶輸送統計調査（基幹統計調査）」の調査対象事業者のうち、一定の期日までに提出のあった事業者の実績を用いて、過去半年分の当該事業者分と全体の輸送量の比率を以て推計した値である。また、全体の輸送量の内訳である用途別については、過去半年分の内訳の比率を用いて按分したものである。

そのため、「内航船舶輸送統計月報」における推計方法とは異なるので留意されたい。なお、確報値は、「内航船舶輸送統計月報」として追って公表する。

お問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

TEL：03-5253-8111 FAX:03-5253-1567

担当：小林（内線 28-742）、西岡（内線 28-743）